

2018年度 国立病院機構 宇多野病院 神経内科研修ならびに 内科専門研修プログラムのお知らせ

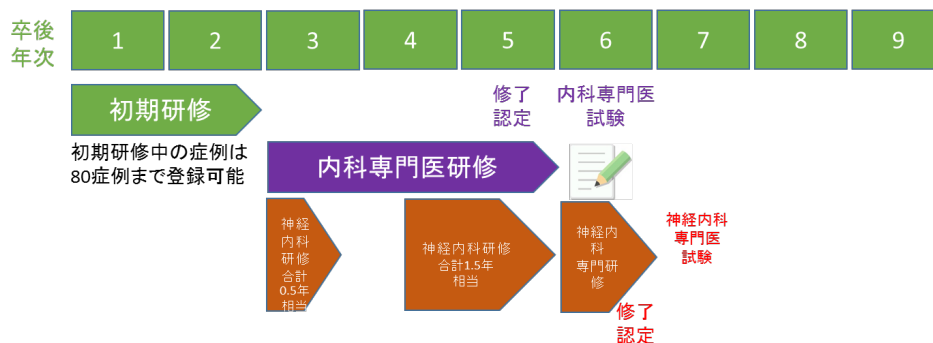
新制度、従来制度ともに対応していますのでご安心ください

～病院見学受付中～

国立病院機構宇多野病院は、新専門医制度に対応した「内科専門研修プログラム」を基幹病院として実施します。また、現行制度での神経内科後期研修も提供して参ります。

新専門医制度で当院が基幹施設となるプログラムには、内科サブスペシャルティーとして神経内科医

新専門医制度内科専門医プログラムにおける 神経内科研修(予定)



を目指すための神経内科領域に重点を置いたコース、将来のサブスペシャルティーを決めずに内科全般を研修するコースを設けています。

内科プログラムでの連携病院は国立病院機構 京都医療センター、京都市立病院、三菱京都病院、京大病院です

(京都医療センターの場合は、所属は国立病院機構のままとなります)。

当院は、神経内科専門医研修病院としては、伝統ある病院であり、これまでに毎年、3-4名の神経内科専門医を輩出して折り、過去の合格率は100%です。出身校や出身地域にとらわれず、研修を受けていただけます。オールラウンドな神経内科医として活躍できるように研修体制を提供してきました。入院件数は年間あたり、1,000件以上で、入院患者数も170-180床で、パーキンソン病やその類縁疾患、認知症、脊髄障害、小脳制運動失調、末梢神経・筋疾患などあらゆる神経疾患の経験が可能です。特に変性疾患、免疫性神経疾患などの分野では研究活動も活発で、臨床研究部では医師主導治験をはじめとして、先端的な臨床研究が実施されています。

新専門医制度の「宇多野病院内科専門研修プログラム」の応募日程は、2017年10月1日～11月15日までで、日本専門医機構のホームページを通じてご応募いただく予定とのことです。

応募に先立ち、当院ホームページ「フォームで問い合わせ」よりご連絡いただくとスムーズです。

なお、2014年以前に医学部を卒業され、内科認定医を取得(予定を含む)後に日本神経内科専門医取得を目指す場合は、従来からの後期研修システムによる「神経内科専修医」研修も可能です。(宇多野病院は、日本神経学会の教育施設です。)

見学申し込みやお問い合わせはUtano-resident.comで「フォームでお問い合わせ」で

身分: 国立病院機構任期付き常勤職員、月額530,000円程度(卒後4年目、当直手当等を含む)